



不要なバイアスを取り除く

校長 久木崎 晃誠

10月1日に天城町では「ジェンダー平等推進」宣言の表明がなされ、13日の町民体育祭で宣言パレードが行われました。

ジェンダー平等推進のまち あまぎ

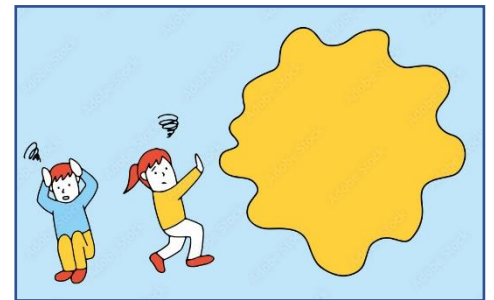
私たちは、性別にかかわらず一人ひとりの人権が尊重され、個性と能力が発揮できる男女共同参画社会の実現を目指し、あらゆる分野における男女共同参画・ジェンダー平等が推進され、ユイの心で互いを認め合い支え合い、誰もがこころ豊かに笑顔で暮らせる町となるよう、町民一人ひとりが性別による固定的な役割分担や偏見、差別等ジェンダーにより生じているジェンダーギャップ解消に向けて行動することを宣言します。

令和6年10月1日

「男だから…」「女だから…」「男だったら…べき」「女だったら…べき」…etc.何となく思い込んだり、偏った見方・考え方をしたりすることを「バイアス」というのだそうです。他にも、「高校卒業者より大学卒業者の方が優秀」とか「地方大学出より都市部大学出の方が仕事ができる」等も、本当にそうであるかどうかは実際には分からず、当てはまらない場合もあるのでバイアスといえるでしょう。

私たちの身の回りには、知らず知らずのうちにそのような不要なバイアスがかかってしまっていることがあるようです。

先日参加した県校長研修会の講話(「デジタル時代と子供たちの学びー『内発を誘発するための害発』の実現のためにー」文化庁次長/兵庫教育大学客員教授 合田哲雄氏)では、義務教育修了段階(中3)で理数系に長けている子供が約4割(男女共)いるにもかかわらず、高校段階での理系選択者が約2割(女子は女子全体の16%)と半減し、大学理工農系学部の入学時にはさらに約1割(女子は女子全体の5%)に半減しているというデータが示されました。理数系離れが進んでいると同時に、女子は理数系ではなく文系に…というバイアスがかかっている現状があるのではないかと指摘です。



教育に関しては、「教育は好きを諦め、嫌いを強いて総得点を上げるための修行」とし、「我慢メンタリティ」を刺激して「整える」「揃える」が優先されるというバイアスがかかっているという話もありました。確かに、苦手な内容に力を入れて少しでも全体を伸ばそうとしたり、みんながしているのだから同じようにしなさいと強要したりすることもあるな…と思いつくことです。

とはいえ、全てのバイアスが悪いわけではなく、時にはそれが必要な場合もあるのだそうです。不要なバイアスは取り除いていくことによって、差別をなくしたり、平等な立場で生活したりすることに繋がると思われます。

さて、同講話の中で紹介された下の文章の意味がお分かりになるでしょうか。恥ずかしながら自分にはバイアスがかかっていて、すぐには状況が理解できませんでした…。

父親が一人息子を連れてドライブに出かけた。

ところが、その途中で父親がハンドル操作を誤り、電柱に衝突する大きな交通事故を起こしてしまった。父親は即死。助手席の息子は意識不明の重体。すぐに救急車で病院に運ばれた。

外科医が手術室に入り、手術室に寝かされた子供を見るなり、「この子は…私の息子だ。」と言って驚いた。

奥村高明他編「コミュニティ・オブ・クリエイティビティ」 引用 (文責 久木崎)

未来を担う子供たちに不要なバイアスをかけることなく、また、子供たち自身が不要なバイアスをもたないように私たち大人から手本を見せていきたいと自戒することです。

～本物の演奏に聴き入る 中・青少年劇場 11/14～

町教育委員会による青少年劇場がありました。今年は霧島市のみやまコンセルより「みやまサテライトコンサート」と題し3名の演奏家によるコンサートでした。

ピアノ、クラリネットの素敵な演奏、ソプラノの綺麗な歌声…、コンサート終了後は、鑑賞した中学生を代表して永岡さん(中1)がお礼の言葉を述べてくれました。

本物の芸術にふれる機会が少ないので、このような素晴らしい時間を過ごすことができ、文化の秋にふさわしいひと時でした。



～アメリカでの成果 中学生海外派遣事業報告会～

本事業については前号でも紹介しましたが、参加した井上恭仁さん(中3)が10/30に10日間余りの留学から無事に帰国し、11/3の町民文化祭にて報告会を行いました。また、学校でも11/5の全校朝会の中で報告をしてくれました。

久しぶりに会うクラスメイトや小学校の後輩たちを前に、アメリカでの貴重な体験や学んだことを発表してくれました。

身近な先輩の話に刺激を受け、国際感覚豊かな子供たちが一人でも育ってくれることを願います。



～児童生徒会 新体制スタート～

生徒会役員改選を経て、児童生徒会の引継が行われました。

生徒会長の重原清春さん、副会長の吉田義虎さん、保体生活部長の永岡董さん、学習文化部長の梅澤詩江さんを中心に学校行事や様々な活動を進めていきます。

児童生徒全員で力を合わせ活動を頑張ってください。

これまで中心になった3年生のみなさん、本当にお疲れ様でした。



～11月8日(いい歯の日) 歯磨き強調週間～

11/1～11/8は歯磨き強調週間でした。児童生徒会の保体生活部が考えた「歯みがきソング」を活用した給食後の歯磨き、養護教諭の松尾先生による歯磨き指導も行われました。

今後もご家庭と連携した保健指導を進めていきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

～モチタボレ 無形民俗文化財表彰～

11/3の町民文化祭において、西阿木名の伝統行事「モチタボレ」が県の無形民俗文化財に指定されたのを受け、表彰式がありました。また、ステージ発表の最後に踊りを披露し、文化祭を盛り上げてくれました。



<12月の主な行事予定> ※ 中止または延期となる場合もあります。

- ・ 2日(月) 中: 租税教室
 - ・ 3日(火) 全校朝会 ユイの里号 中: あまぎ学
 - ・ 4日(水) 学校評議員会 人権週間(～10日)
 - ・ 5日(木) SC来校(午前)
 - ・ 6日(金) 歯の日 ロードレース試走
 - ・ 7日(土) 教科セミナー
 - ・ 10日(火) 特支学級交流会
 - ・ 11日(水) 小: 伝統芸能 徳之島地区学校保健研究大会
 - ・ 14日(土) 土曜授業 校内ロードレース大会(幼・三京合同)
 - ・ 15日(日) 家庭の日 思いやり・クリーン作戦
 - ・ 19日(木) 食育の日
 - ・ 21日(土) 青少年育成の日 教科セミナー
 - ・ 24日(火) 終業式 大掃除 給食後下校
- ※ 門松作りについては後日連絡します。



◇ 受賞おめでとう

- 徳中体連卓球新人戦 男子シングルス優勝 吉田義虎
男子団体準優勝(天城中合同)



◇ 「地域が育む『かごしまの教育』県民週間(11/1～11/7)へのご参加ありがとうございました。お忙しい中にも関わらず、授業参観にお越しいただき感謝いたします。

◇ 11/12に徳之島三町複式・極小規模校部会研修会が本校で開催されました。会の開催にあたり、駐車場の誘導、授業参観、下校時の迎えなど保護者の方には色々ご協力いただき深く感謝いたします。

お陰様で研修会も充実し、職員の資質向上も図ることができました。今後も職員一同、子供の学力向上に努めますので、引き続きご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

◇ 伊仙町での事件の解決が待たれますが、当分の間は保護者の方にご対応をお願いします。

いよいよ12月を迎えます。色々慌ただしくなる時期ですが、交通事故等には十分ご注意ください。

